【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】平成20年11月20日(2008.11.20)

【公開番号】特開2006-350563(P2006-350563A)
【公開日】平成18年12月28日(2006.12.28)
【年通号数】公開・登録公報2006-051
【出願番号】特願2005-174325(P2005-174325)
【国際特許分類】
Ｇ０７Ｄ　3/00　(2006.01)
Ｇ０７Ｄ　5/08　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０７Ｄ　3/00　Ｃ
Ｇ０７Ｄ　5/08　１０３

【手続補正書】
【提出日】平成20年6月5日(2008.6.5)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項２】
前記基準ガイド（174）は直線ガイド部（188）を有することを特徴とする請求項１に記載する硬貨金種判別装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項３】
前記金種判別装置（106）は、非磁性材料で製造されたスライドベース（170）、及び、前記スライドベースに近接し、かつ、前記スライドベースに平行な面内にて回転する非磁性材料で製造された回転体（172）、前記回転体の回転経路外周に位置する前記基準ガイド及び前記基準ガイドに相対する前記回転体によって移動される硬貨の前記移動通路の上下に配置した金種判別のための磁気センサ（160）を含んでいることを特徴とする請求項１に記載した硬貨金種判別装置。
【手続補正３】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項４】
前記磁気センサ（160）は、直径センサ（192、194、196）、材質センサ（162）及び厚みセンサ（164）を含んでいることを特徴とする請求項３に記載した硬貨金種判別装置。